

授業科目名	国文学Ⅱ (2100255)		
時間割名	国文学Ⅱ (21112)		
時間割担当	阿尾あすか		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・1		

### ■授業の目標・概要

中学高等学校教員として必要な江戸時代から昭和時代にかけての文学に関する基礎的な専門知識の修得を目指す。また、特に俳諧・俳句の歴史の変遷や基礎知識の学習を通して得た知識を、実際の教室での指導・教育にどのように汎用するかを学ぶ。講義では俳句の創作活動も踏まえながら、日本人が長い年月を経て培ってきた季節感や言語感覚について理解を深める。

### ■学習の到達目標

- 1) 日本文学に表された季節感や言語感覚など、日本文化の特徴を理解する
- 2) 近世・近代の文学に関する基礎的な専門知識を修得する
- 3) 中学高等学校の教育現場での活用方法を修得する

### ■授業方法・形式

講義形式で行う。講義で得た知識をもとにワークに取り組み、意見を共有する。創作活動も入れ、互いに発表しあう。講義終了時には自分の学びについての振り返りを行い、学んだことを定着化させる。

### ■授業計画

- 第1回 ガイダンス・季語について
- 第2回 日本人の季節感・季語を用いた言語活動
- 第3回 俳句・俳諧の歴史① 連歌と聯句
- 第4回 俳句・俳諧の歴史② 俳諧・句会
- 第5回 俳句・俳諧の歴史③ 松尾芭蕉
- 第6回 俳句・俳諧の歴史④ 『奥のほそ道』
- 第7回 俳句・俳諧の鑑賞、句会
- 第8回 俳句・俳諧の歴史⑤ 芭蕉以後の江戸俳諧・俳諧の技法
- 第9回 俳句・俳諧の歴史⑥ 正岡子規・写生の句を作る
- 第10回 俳句・俳諧の歴史⑦ 高浜虚子・花鳥諷詠の俳句を作り味わう
- 第11回 俳句・俳諧の歴史⑧ 尾崎放哉と種田山頭火・自由律俳句を作る
- 第12回 俳句・俳諧の歴史⑨ 高浜虚子の弟子たち、大正時代から昭和時代の俳句
- 第13回 俳句の鑑賞・近代文学史まとめ① 明治時代
- 第14回 俳句の鑑賞・近代文学史まとめ② 大正時代
- 第15回 俳句の鑑賞・近代文学史まとめ③ 昭和時代

### ■成績評価の基準

講義中のワークや創作活動の取り組み、発表の内容、振り返りの内容など (50%)  
 学期末のレポート課題 (50%)

### ■準備学習・復習及び授

- 1) 中学高等学校の教科書や便覧でどのような俳句が取り上げられているか予習しておく。
- 2) 季語について俳句の歳時記で用いられる季節などを調べ、講義で発表するという課題を課す。
- 3) 古文法、特に切れ字などに用いられる助詞について、高校の時の古文法の副読本などを読んで復習しておく。
- 4) 小学生から高校生までの児童・生徒を対象とした俳句に関する書籍に目を通して、どのような言語活動の指導をするのかを学ぶ。

### ■履修上のアドバイス及

「国文学入門」「国文学Ⅰ」を履修した上で受講するのがのぞましい。講義では課題に能動的に取り組むこと、講義内でのワークに積極的に参加することを大いに評価します。創作活動や発表があるので、俳句に関する書籍には必ず目を通しておいください。

### ■教材・教科書

講義中に配付するプリント

### ■参考書

中学高等学校の教科書、高等学校国語便覧、井上泰至『俳句のルール』（笠間書院）、夏井いつき『夏井いつきの俳句の授業 子供たちはいかにして俳句と出会ったか』（創風社出版）